參市元豆六吊百至六三吊二百
紅糧價錢五吊四百文至五吊
參市共上車三十餘輛
參慶車共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一連紙　一連　一圓
一フールスカプ仝　仝　四圓
一中判洋紙　百枚　二圓
一半紙野紙　二十錢
一卷紙　四十枚綴　十二錢　十四錢

一椅子　一圓五十錢以上四圓五十錢
一簞笥　三十圓以上三十五圓
一卓子　四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛　六圓以上十二圓
一廚房用戶棚　七圓五十錢以上十圓

一長火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢　二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢　一對　六圓以上九圓

Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office,
Newchwang.
Telephone No. 29.

發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）

滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減
每張四百文

特別廣告

告示

一本年二月より六月に至る牛莊間土地貸下料未納者にして七月十五日迄に尙納付せさるものは其土地の貸下を廢除す

明治三十九年六月二十六日

營口軍政官　與倉喜平

公告

電話交換手募集

當局電話交換手を募集す志願の者は（滿十六年以上二十五年迄にして高等小學卒業若しくは同等以上の學力を有する視聽力完全なる日本人に限る）志願書に自筆の履歷書を添へ携帶出願すへし

明治三十九年六月

營口軍政署電話局

日本郵船株式會社　滬船出帆廣告

大連出帆

●橫濱丸　七月六日　大連出帆　門司　神戶行
●相撲丸　七月三日出帆　太沽、芝罘、仁川、釜山、門司、神戶行
●立神丸　七月六日出帆　太沽、芝罘、長崎、神戶、門司行

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ　未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店　旗昌洋行（電話二六番）

大阪商船株式會社　營口滬船出帆廣告

●能登丸　七月四日入港　東口公園地橫

代理店　ブランユ兄弟商會　遠來洋行（電話二十三番）

滬船出帆廣告

●日海丸　三十日　門司行

松茂洋行船舶部　海岸東稅關西　電話（五二五七）

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
横濱　神戶　東京　長崎　大阪　倫敦
里昂　紐育　桑港　布哇　孟買　香港
上海　漢口　天津　北京　大連　旅順
奉天　遼陽　芝罘　鐵嶺

橫濱正金銀行牛莊支店（電話十番 支配人室）（電話百八番 事務室）

宅洋行

啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子級布手巾花巾洋䌓火柴鐘表等類價値格外克已並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業所以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周詳偉可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧局勝榮幸之至

總司理人　田中賴之助　謹白

開設老爺閣街同盛德院內　電話（店一八三番 住所五五番）

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運承辦營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡到貨物極爲利便圓貯油餅豆米麥更爲合宜兼設有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及有機器油房私格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷

總司理人　葉亮卿　謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹擧及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之

正理事　潘玉田　副理事　金德魁　設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專營裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞

本主人敬啓

仁裕號

保裝運各幫火輪船生意兼賣各幫洋什貨礦石等兆備

營口西大廟街路北營乙第十三號

土木建築並ニ測量設計請負

營口靑堆子綏定門外

志岐組

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許敎運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱限中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議

西北街東櫃（電話九十五番）
西義順棧內西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司

本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯違）櫻花牌（拔稱）百合花牌（利利）均已馳名內外玆特選上等烟料加工精製雙仙鵝牌（隆沽來福）淸香撲鼻佳美適口而價値極廉　諸尊欵請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

SP　糸平公司

本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綢布其他一切織物概行發賣並特約販賣（正日光）皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告

營口元神廟街元神廟南邊路西（電話一百九十二号）

朝日ビール特約大販賣

三井　電話　第六十六號　第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地（靑堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候（電話百二十八号）

經理部

○明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司

啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

三井洋行啓

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨屯集資本浩繁有保險以維持之可以有恃無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用向有王鹿芹、郭漁笙、朱斐章先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦　諸貴商所樂聞乎如蒙　賜顧請逕至大德亭內面議可也

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數吝惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即般實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉　僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事　僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克已　諸公賜顧請　駕臨大德亭內面議不誤

王鹿芹　朱斐章　郭漁笙　仝啓

洋行　電話　第六十六號　第九十一號

㊄鐵道遼河　裕和盛運輸局（電話八十一號）

在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年并店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧

總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

銃砲火藥　專賣業

本行蒙　官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈零類物美價廉零整發售如蒙中外士商賜請至本行面議可也

官許商　武田洋行　營口元神廟街第十號

關東玻璃公司

本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉
光顧者請至營口永世街　第五號　門牌便是

繩叺莚販賣廣告

精々强勉仕候間不拘多少御注文奉願候尙ほ當地にて御入用之御方は南永世街三十七號地岩村眞鐵方へ御申越被下度候

大連市西通り二丁目四十三號地

東京　門倉出張所

丸重洋行

貨物運輸

啓者　本行前在營口臺賣雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東清鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉値籌貨主之利便爲旨　如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構內分莊面議不悞

電話　營口　拾八番　牛家屯　四拾六番

青堆子　菅野玻璃廠

玻璃器什遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠特聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價値公道主顧不誤官商幸給顧光特告白

本主人謹白

●森醫院　營口永世街　院長醫學得業士　森　矯
●齒科部　主任齒科醫士　兒島市郎

啓者本院雖開辦日淺刻已招聘醫員增加看病人購入醫療器械修補手術室並養病室萬端設備日形進境自四肢五臟之病以至打撲創傷等類皆能立刻醫治頃者更添設齒科特招聘該科專門醫兒島市郎君已自四月八號起開辦從事齒患者之治療按齒牙之於人體極有密切之關係其健否即不翅繫胃腸之健否缺落一齒則音聲爲之濫濁面貌爲之失形況疾患權於齒牙始雖一小齲齒漸次侵蝕隣齒途使全齒失其咀嚼之力疼痛不可言狀輾轉反側主爲難堪因之東國夙有齒科專門之醫研究多年備極蘊奧巧技入神齲齒凹窩則須鏟去疼痛而後塡塞以金銀護模西門土等品若門齒缺落則以磁製之義齒欲入齒株無殘根者則以護模製之座床列植義齒其他或截齒頭以金冠或欲入義齒不須床架巧技殆奪造化之妙若有齒株無要者則因藥液之力拔去毫無疼痛今世患齒牙者日多而治療之法日益進步幾不憂有齒患矣然中國醫界之風潮尙未發達治齒之術措而不問殊爲憾事本院主引爲已憂測然感動特添設齒科招聘專門大家以從事齒患者之治療刻設備已全施治懇切其術極巧其價極廉以期普遍救治並發揮近世東瀛醫術之進步務望大方君子有齒患者幸早臨治療勿自貽誤此佈

志岐組　木料棧　材料出售

啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克已凡中外士商光面議願請到本棧

遼河總運輸　同濟公司

本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙貴商光顧者請至本號面議特佈週知

營口南永世街　同濟公司總局
馬蜂溝　同濟公司分局
營守屯　同濟公司分局
通江子　同濟公司分局

大連電報

（二十六日午後六時特別通信員發）

●審理所條例の發布 關東州審理所條令發布せられたり

倫敦電報

（二十七日發電）

●紐育の殺人事件 紐育市に於ける金滿家ヘーリー、ソウなる者同地マヂソン公園地劇場に於て有名なる建築家スタンフオード、ホワイト氏を殺害して放火せり、兇行の原因は痴情に基くものにしてソウが近頃娶りたる一美人は元歌妓にしてホワイト氏と知り合ひなりし由犯罪者夫婦は逮捕せらる、市中は此噂にて持ち切れり

●教育法修正案否決 教育法案第四條に對し反對側より提出せられたる修正案は二百三十七票に對する三百四十九票にて否決せらる

●ナタル叛徒の加勢 ナタルに於ける叛徒はマフムリー地方より新に二千五百名の加勢を得たり

●教育法案徹回か 仝上少數者中に國民派七十名自由派二十七名及勞働派十九名あり自由黨側にては最早同案の通過疑なしとせるも保守派にては同法案は全々亂脈の姿となりたれば政府は之を放棄せらるべしと勸告せり

日報短評

一攫千金の利を夢想する勿れ

邦人の滿洲に在るもの大概夢想すらく、滿洲の地たる穀蔬家蓄の富饒森林礦山の有望なる其遺利や手に唾して拾得すへしと、而して其實地を經驗するに及ひ始めて想像の愆まれるを知るもの比々皆然りと爲す。

抑今の淸國なるものは遠く十世紀の古に於て既に業に文化の域に達し爾來一千年間所有生存上必要の方途を講し盡して殆んと餘蘊なく、今日に於ては只一の老大帝國として餘喘を保つに過ぎされは彼の南北亞米利加及亞非利加洲の內地の如き新開地とは全然其趣を異にするは言を俟たさる處なるも、由來吾邦人は推理的頭腦に於て頗る欠如たる處あり爲に上に說くか如き心得違ひを致すを免れさるなり。

此故に吾徒は明白に諸氏に告く、滿洲の地は決して一攫千金の利を夢想すへき土地柄に非らす所謂濡手で粟の掴み取りは絕對に不可能なりと知る可し。唯只我邦家の積極的生存上已むことを得さるものありて北部發展の機運を造出したるものたるを覺悟し徐ろに計を立て策を講し秩序的に將た永久的に商工業發展の途を講ずるものにして始めて志を成すへきなり。（小らん）

雜報

●中外近事

▲獨逸電信と淸國 山東膠州灣濟南府間の鐵道に沿へる獨乙電線は元鐵道各驛間通信用にのみ供すべき條件にて其架設權を得たるものなるに近來一般公衆電報をも取扱ひ居ること明白となりたるを以て北京政府は電政利權を侵害するものとして抗議を申込みたるも獨乙公使は淸國電政局經費の一部分を負擔すべき條件として一般公衆の電報取扱をも許可せんことを外務部に要請せりと

▲露國の義艦計畫 露國にては今回愈々二千五百萬留を以て絕東義勇艦隊設立の議あり右は我が帝國義勇艦隊に對抗し平時は烏港を根據として半官半民の航業に從事し有事の日は直に武裝して補助巡洋艦たらしめん計畫にて向三箇年間に必成し我が義勇艦隊を壓倒せん目的なりと

▲哈爾賓近狀 哈爾賓歸客談に據れば去る三十七年同地を去りたる時と戰後昨年十一月に較すれば實に驚ぐべき進步にして停車場及び倉庫等の擴大せられたるは論なく一般市中の繁華は戰爭以前に數倍し倶樂部其他の娛樂場の如き其整頓意外に出でざるものなく戰時の策源地として又北滿洲の首府として露人の銳意經營せしは驚嘆の至なり殊に戰爭の失敗に拘らず政治、社會上及び產業上に於ける露國人の權力が增進したるは最も駭目せり云々

▲韓帝の密勅 我が全州守備隊は淳昌討伐の際其散亂したる暴徒の書類物品中より韓帝の勅諭とも稱すべき馬牌あるを發見し守備隊は直に之を押收したるが右は韓帝よりの勅命を含みたる密書にして暴徒に對し叛亂を煽動するの文字あり多分曩に捕縛せられたる陸軍副將閔景植一輩の所爲に出でたるものならんと

▲臺灣の收入 臺灣總督府三十八年度の收入金額は累計二千五百二十二萬九千三十六圓にして最初の豫算額に超過せるもの四百九十二萬二千八百三十一圓にして各科目中豫算超過の主なるものは砂糖消費稅六十二萬圓、阿片收入四十四万圓、郵便電信收入四十三万圓、鐵道收入三十二万圓なり

▲大連航路の保護 大連の隆盛を圖らんとするには內地よりの旅客をして航海上の不快を感せしめざる樣船舶の如きも可成美麗にして快走力を有するものを頻繁に往復せしめさる可らざるを以て政府にても臺灣と同じく特別保護を加へて此の利便を圖らんとする意嚮あり來年度豫算中には多分同航路保護金の編入を見るならんと

▲北淸地方の硝子類 目下北淸地方に輸入し來る硝子類は獨逸大部分を占め他は本邦及佛國品にして獨乙品は品質敢て優秀なるに非さるも價格低廉にして需要多く佛國製は華美精巧なるも價額廉ならす爲に一般の需要に適せさる模樣なるが本邦製品は其中間に在りて目下十分の四を占むる由元來淸國及滿韓に在りては未だ硝子類の需用の途進まず本邦古代のカンテラの如きものを洋燈の代用に供しつゝあり又食器等も同樣の有樣なるも追々需用增加の見込みは確かなるべし目下の處在留の內地人及外國人の需用大部分を占め居れる有樣なりと

▲桑港義捐金總高 日本赤十字社に於て募集に着手せる桑港の震災義捐金は靑木駐米大使より赤十字本社に對し最早義捐金募集の必要を認めさるに至れりとの通牒ありたる趣にて同社に於ても該募集を中止する事とせり今日迄の全國民の該義捐總額は二十九萬五千餘圓に達し居り目下精算中なりと云ふ

●安東縣通信 （廿五日發）

▲鴨江航路の取締 當地龍岩浦と往來する上海芝罘及び日本の船舶は一定の完全なる碇泊所なきため目下軍需品輸送の時たるにも係はらず猥りに多數の私船一所に密集し或は繫留法の宜しからさるため官船の通行に妨げとなるのみならす危險少なからさるを以て今回當局者は當地海岸通りなる運輸通信部前より龍岩浦に至る間に是等妨害となる船舶を禁じために本月廿日附を以て日淸韓の三國人に通じて嚴重なる規定を發布し犯したるものは銀五圓以下の罰金に處せらる

規定

一、安東縣運輸通信部前より下流に船を滯留するには江岸に接し一隻宛に限る
但船は必ず水流と平行して位置せしむべし
二、故なくして航路に船を停止すへからず
三、航路に向ひ投錨すべからず

▲鴨江冲の不漁 昨今大潮のため下流冲台の漁業非常なる不漁にて今廿五日の如きは當魚市場悉くを合して僅かに鯛十八貫鱸廿貫其他鰡及雜魚を合して六七貫の位なれば其需要の十分の一だに供給する能はさるため著しく其價を騰貴し鯛一斤（百四十目支那斤）にて三十五錢鱸四十錢鰡二十錢の呼値あり而して從來當市場にて賣上の平均は一日魚類悉皆を通じて百五十貫以上宛に昇り居れりと云ふ

▲樺山將軍の一行 同一行は昨日午後四時七分滾車にて沙河鎭停車場（當地軍政官及び領事其他紳士紳商の出迎を受く）着夫より樺山將軍は顧壽美館に西男爵は元寶館に淸浦顧問官は大和館に投宿一行は今朝未明より鴨江巡航汽船にて龍岩浦へ赴かれ午後六時歸安明日平壤に向け出發さる、といふ

▲釋雲照律師出發 去廿一日來安の一行は今朝五時より平壤へ向け出發せり而して昨廿四日は午後四時より當日本人會よりは評議員各區長等四十名を限り本願寺安東出張所沙河鎭寺に於て一場の講講を請へりと

●淸商の不景氣

滿洲內地の購買力を誤認したる上海、寧波、香港及び我が內地商人等が昨年の好景氣に乘せられ大河の水を決する如く輸入したる貨物は全然停滯の姿となり一般の不景氣を釀し我か在留商人の中には早くも當地を見切りて天津邊に引揚の準備をなすものありとの事なるが淸商中の大取引をなすもの等は亦た非常の不景氣に陷り今決算期に臨んで狼狽苦心するもの少なからずと聞く但し淸國巨商の不景氣は戰爭の餘波を受けたるものにして內地商人等の崇むれる景況とは自から其趣を異にし苦心の度も遙かに上越するものあり且つこれが挽回の策とて俄かに講じ得らるべきものにもあらねは唯だ日月の經過に依賴せざるべからざる有樣なりと云ふ

●銀爐の決算 追々淸國商習慣上の上半期決算期に迫まれり銀爐の決算亦た此の時に行はるへけれは我か軍憲にては前決算期の如く銀爐の決算を監視し實幣相場の維持に勉むる筈なりと云へは尙は一般我か商家にても周到の注意を要すへし

●新市街地の經營 牛家屯新市街地の經營は其後益々進涉して地所區劃漸く完成したれは遠からさる中に愈々希望者の移轉取扱を開始するに至るへしと云ふ

●護岸工事 豫ねて牛家屯停車場附近に築造するに決定されたる護岸工事は已に起工され目下陸軍倉庫及び三井倉庫豫定地附近の工事に着手し杭木を打込みつゝ在りと云ふ

●商況の不振に就て

營口の商況不振は今一般に唱へらるゝ所にして到る所不景氣の聲を聞かさるはなし、淸商に於て然り外商に於いて然り日本商人に於て亦大いに然り、然りと雖も吾人を以て是を觀るに不振を歎き不景氣を口にするは、歎くものが考へさるの甚しきを鳴らさざるへからす。

蓋し營口商況の不振は唯た營口に止まらすして淵源する所實に滿州の內地に在るは云ふまでもなきところ也、夫の三十七年の初頭よりして三十八年の秋に亘る大戰役は一切の貿易を杜絕し內地の物貨は初年に於て內地各市場に堆積し、次年に於て殆んと全く人馬の蹂躙に委し、次いで軍隊の還送輸送あり、戰塲たりし地方は尙ぼ全く戰時狀態を脫する能はさりし狀況に在りき、而も需要供給の潮流は自然に通し戰亂むに迫んで辛ふじて遼西方面よりして或は結氷期中の馬車輸送に依り、或は關外鐵道に依りて新民屯を經て通計約二億萬圓の貨物を輸入し、以て地方の戰役中に於けりし缺乏を補充し需要を充したり、而して其の輸出貿易は上記の理由よりして少量の內地產物の同じ流れによつて輸出されたるかありしのみ、然して是れ實に昨年の初冬よりして今年の春に及ふ冬季間の事業に屬せり、

試に想へ滿州の農夫如何に勤勉なりと雖も日露兩軍相合して約三百萬の軍兵と之れに適ふ軍馬と諸種の車輛とか、東長白山彙より西遼河を超へて一面に馳突蹂躙するに遭ふて、果して其の收穫を全く收穫し得へき、況んや兩軍は共に其の軍需糧秣を到る處の原野に徵發したるに於いておや、尙は況んや其の農民の大部分は夫の山東省地方より入り込みたる勞働人夫と共に、鋤鍬を抛つて車輛を追ひ競ふて軍需品の輸送に從事したるに於ておや、滿州の土地如何に豐穰なりと雖も斯くの如くにして豈能く收穫を擧け得んや、輸出貿易の見るものなき誠に其所ならすや、之れに反して滿州の農民の其の殆んと全部は擧つて軍需輸送に從事したるか爲めに、彼等か日露兩軍より得たる勞銀は決して少小にあらず、とは雖も戰鬪の局面は鴨綠江岸よりして展開し、太孤山附近よりして展開し、遼東半島よりして展開せり、兩軍か伴ひたる多くの勞働人夫は勢ひ彼の對岸より出稼ぎせる山東人ならさるへからす、而して事實は亦此くの如し、此に於いて日軍は約十數億圓を滿州に殘せりと云ひ、露人は之れに倍するものを遺棄したりと云ふも、共に其の大部分は命を捨てゝ金を拾ふへく出稼ぎせる山東人夫の收獲となり、而して彼等は其の重き財嚢を背負つて已に其の鄉人に歡迎されたり、而して戰役間の三分一以上露軍に伴ひたる車輛人夫等は公主陵の線以北に在りて南滿州の輸入貿易圈外に在り、去れば眞に滿州土人の戰役によつて收入したる金額の甚た多額に上ほらさりしは事頗る明瞭を欠かす、況んや土民の多くは其家財家具を喪ひ且つ家屋の兵燹に罹りたるものさへ少からさるに於ておや、彼等は其の收入を以て先つ之れか補充修理をなさゝるへからす、其の日用品購買の力豈能く外間人士か想像する如くなるを得んや、

此等の理由を以て今日營口に於ける商況不振を來せり、此時に當つて其の源因を窮むることなくして徒らに歎くは抑も愚ならすや、狀況此の如き地方に向つて、身は海外に在り、遙かに滿州戰後の好景氣を想像しい貨物を用意して一時に入港し其の荷捌きの涉々しきに雀躍し、前後の判斷を誤まり、引き續きて我れ勝に爲し能ふたけそれたけ多くの貨物を背負込み、鐵道運賃の高値なるか爲めに荷問を來せり、軍政は商人の商業を阻害せり、など〻騷擾し本國政府にまても迫まるに至りたる近眼商人は、內地の狀況已に業に一應の供給を受けたる上に輸出すへき收獲を見さりし地方民の購買か衰へたるを想察すること能はさりし、其愚や誠に雖ふに絕へたり、而るに近く上海商人の團体は四名の視察員を滿州內地に派遣して其の實況を視察せしめ、其の報告の發表さるゝに及んで初めて往時の謬見を悟るに至りたりと云へは、恐くは今後に於ける滿州の輸入貿易は漸次順調に復すへきも、尙は商業上の機會か常に遊動し豫め規矩を以て準すへからさる以上は、如何なる變動の急起せんも知るへからされは、深く其動作を誡めて意外の變に備ふることを忘れさると同時に、善く其販路に對する研究を積まんこと、吾人か特に我か同胞商人に向つて勸告するところなり。

●銷夏錄 小樹生

雪の卷（六）

▲日淸戰役終局當時のことなりき、余は金州の冬營地を出て〻朝鮮義州に赴かんとし、貔子窩より海岸を縫ふて太孤山に出て、太孤山より捷路をとりて更に安東縣に向はんとし、途に大羊河畔の龍王廟に一泊す、一行中新聞記者あり酒保員あり同行總て六人、偶々一行中の宿舍に宛てたる市內の雜貨店の掌櫃的にして六十餘歲とも見ゆれしその辮髮をば胡麻擅て色彩せし老人、來て余か前に叩頭しつゝ口を張りて腐蝕せる臼齒を示して曰く老生久しく齒痛を病めり乞ふ余か爲に治療せよと余は衛生部員に非らすして新聞記者たることを說明せるも渠の强情なる只管乞ふて止ます、仍て畢生の智嚢を絞つて持合せの豆煙管を以て拔齒器に代へ力任せに病齒を拔き取り寶丹を其痕に塗れり。老人大ひに喜ひこんゝゝと降る雪の中をも厭はす泥炭を運び來つて坐下の炕を焚き鷄豚を料理して高粱酒を薦め、一行皆余か奇功を奏せるの餘澤を蒙さるなし、これより一行余を目して長井兵助と云ふ、これ余が別に等身の大刀を常に腰間に橫へしを以てなり。

▲これ亦其當時のことなりき一軍役夫の鴨綠江畔に勞働せるもの如何しけん男根の凍傷に罹り義州兵站病院に護送せらる、係り軍醫某（たしかドクトル高橋茂なりしと記憶す）仔細に檢診し了りて後に告ぐるに切斷の止むへからさるを以てす、而も渠れ役夫は頑として首肯せす、哀願に次ぐに涕泣を以てし且曰く「歸朝つてから女房に濟みませんからね」軍醫も亦倦ます撓ます諄々として其利害得失を說明せる態度は恰も禪宗坊主の說法の如し、渠漸くにし納得して施術臺上に治療を受くるに至る、當時靑年士官等これを傳聞して「軍醫の男根引導」と稱す。

日報俳壇

將軍の衣更たる馬上かな 牛骨
閑古鳥名詮自稱の如くなり 同
八重葎しけれる宿の五月哉 默堂
白靴の打ち水よける散步かな 馬生
夕涼み遼河を隅田に思ひなす 涙洋
大佛の鼻かすめ行く螢かな 千曲
鍋祭鼻より上の命かな 甫人
ミシナ時妻なきもよし初松魚 仙橋
朝市の茄子ひろける板戶かな 醉雨
芍藥や畠に作りて事もなき 野梅

▲左規によりて俳句を募る
夏季雜題 期日に關せす掲載得るに從ふ
課題 夏の月、單衣、蠅、六月末日まで
本社編輯局俳壇宛に投寄を乞ふ
▲派の新舊問ふところにあらず淸新なるをよしとす
▲選句者は未足齋野梅氏なり

汽車時刻

關內外鐵道
上り 營口發前六、10 七、00 溝幇子同九、四五 九、00 錦州同后三、四五 二、00 山海關着六、00 八、10
下り 山海關發前 四、五五 錦州同后三、五五 二、四五 溝幇子同二、二〇 四、四〇 營口着 四、五五 七、五二

東淸鐵道
上り 新民屯發前六、00 溝幇子着同九、三七 營口發前六、三五 后 大石橋着同七、10
下り 溝幇子發后三、00 新民屯着同六、二七 大石橋發前八、三五 后二、二五 營口着同九、10 三、10

淡谷木
本號開設營口東苛堆子發賣栢木元料紅松木柚木方料 標子廿四尺栢木大材木板此木大小 價廉採買客人不知謹此廣告

西海洋服店
歐米各國最新流行形
電話百二十

諸鐵工製作
山船舶機械鐵工
營口ブロツシ
川鐵

天氣

營口地方天氣豫報
自六月廿九日午後六時
至六月卅日午後六時
西の風曇り

雜報

●姐さん方へ暑中御見舞

朴捻老

▲三福さんへ（日本館）日英同盟論一冊、お前さんは綏定門街吟松亭の誤令孃と承り居候日本館へ御光來の以前は遠來のお客人と日貿易のマーちやんにはウント同盟なされたる由尚一層御勉强遊す樣此書一冊座右に献上仕候

▲お粂さんへ（醉花園）日清會話書一冊、姫御前の橫濱にて白人の交際術は餘程御修業の由尚御來營後直ちに清人先生を生捕りの御怪腕恐入候隨分口舌に御困難の事とお察し申上候間爰に同會話書一冊進呈仕候

▲大吉さんへ（祇園閣）大眼鏡一個、由來お前さんは御面相の割合目少さくして非常に顔相醜く存候間大眼鏡一つ差上候間座敷又は外出の砌御使用なさるべく候

▲喜多八さんへ（第三捿）秘密證書一通、お前さんは表面餘程堅藏を裝ふはれ居るも裏面或る某所の○○殿と秘密御契約を取替され居る由就ては本書は其將來に就ての裙への注意書き致置き候間是非御一讀なさるべく候

▲れ福さんへ（万梅）三チャンハン通行券同家の門内へは女人禁制にて決して通行出來得ざれども お前さん丈限り特別に通行券差上候但し誤通ィの節は鈴の相圖致置き候間誤注意までに申上置き候

▲朴捻老先生に御尋申上候第三の米櫃お雪姐さんの暑中御見舞品はお年の加減でお忘に相成居候はずや伺上候（一株主）（まだ〳〵）

▲一株主さんにお答申上候　誤心配遊してはお若いのに愚老のように頭が禿げますよ何の忘れますものか實は早く御見舞申すべく筈の所愚老も多くの姐さん方への御見舞品に案外費用嵩まりて殆ど困難仕其上お雪さんには二品や三品のお送りもの位では迚ても萬促され間敷と存候間ゝ末に姐さん方より易料の懸取りを致しましてユル〳〵特別に澤山差上候間左樣御承知被下度候

●騙す狐が騙された

舌三寸で以て甘く操つるものなら倉庫で御座れ金庫で御座れすつかり穴倉へ捲込む程の腕前のある狐さへ猿も木から落つる喩へ、反對に客より騙された珍談、茲に元神廟街の料理店東升亭の酌婦に松山ユキと申す狐あり日外ぞやの本紙に泪ノに振られた物語りを載せて大に反省を促したるにお雪も今ば大に覺りを開きしと見へ其後清人の座敷には一切出ず只管同胞を操つるに全力を注ぎ居りしに是れは又如何なる目算違ひなるやツイ二三日前の事なりき兼て同人の馴染客なる御近場東京樓の帳場滋賀縣生れの小林末吉と云ふ鼻垂男同家に登樓し例に依つてお雪ユキを聘して酒肴を運ばせ飲めや歌への大散財をなしたる揚句最早時間も遲き事なれば寢床へ御案内と導かれて一夜の夢を結び翌朝となり末吉はおユキの左指に挿る指環にフト目を附け今夜朋輩と共に芝居を見に行かねばならぬから其指環を明朝迄貸せとの賴みにお雪は何心なく貸し與へたるに翌朝が翌々朝となりしも一向姿も見せぬに不審を抱き早速東京樓に末吉を尋ねたる所同家には四五日前既に解雇せしとの話に始めてそれと驚き色眞青となり恥も搆はず其筋へ一伍一仔細を話し訴へ出でたりとは餘程近頃風替りのお話なり

●壯俳の大亂痴氣

大根や人參でも役者と云ふ者が附けば藝者と云ふ者が喰附くは世間に能く有る習慣せ、近頃平野町營口座にて名古屋大根にあらぬ田舍大根の評ある好美團一座の座頭伊井薫と云ふ男地獄は豫て今世は愚か二世も三世も深い約束を取結び居る女房を二本町菊水捿に賣飛し藝名も圓八と名乘り働かせ稼ぎし金は殘らず已れの懷中に入れ散々生血を絞り居りしが茲に又同大根が大連にて興行中例の口調で以て甘く誤魔化したる阿婆擢女の某はる〴〵大連より同人を尋ね來り見れば一人り女が女房然と傍に据り居りしを見て客氣の兩角押へ難く行きなり薫の胸倉取ンての大騷動に例の女房然たる圓八之れも堪へ切れず何思ひけん散髮用の鋏を持ち來り我れと我が頭髮を美事根からブッ〳〵切つて男の膝に投げ附けると云ふ有樣に向ひ三軒兩隣りでは下手な芝居を見るよりは餘程見物と噂し合へりとは困つた動物共なり

●人を毆つて監獄送り

烏合の輩共が寄り集まると些々たる言葉の端を楯に取り直ぐ樣毆ぐり合ひをヲッ始め果てはお上のお手數を煩すこそ嘆かはしけれ、茲に原籍福岡縣生れの平島光次郎（二四）なる牛ゴロは現時永世街東雲旅館に止宿しトンビ職を以て漸く其日を送り居る者なるが矢張り同類の仲間元神廟街居住佐藤儀太郎と何か取引上の事より互に口論をなし果てはお定まりの毆り合ひとなり光次郎は携帶せる洋杖を以て儀太郎の後頭部をシタゝかに毆り附げ其儘跡白浪と逃走せし所儀公中々承知せず直樣其筋に恐れながらと訴へ出でたれば早速憲兵光次郎の止宿せる東雲旅館に至り片隅に潜伏せるを取押へ引致取調べの上領事館送りとは困つた護運中共なり

●帳場の持逃げ

永世街大通筋清人專門の料理店大吉樓女將某は昨日憲兵分隊署へ靑く爲りて駈け込み言葉も切れ〴〵に妾方の帳場吉田行雄なる者店の賣溜金百二三十圓を殘らず持逃げ致しましたので何とか御搜索を願ひますと大聲揚げて泣顏をなし哀訴せるが今其事實を聞くに一昨日午前の事なりし同家の帳場前記行雄なるもの他用ありとて出で行きたる儘夕方となりしも歸らず其夜二時頃迄も待ち居りたれども終に歸り來らず翌朝となりて餘りの不審に何は兎も角と錢箱を改めしに賣溜金百二三十圓程入れ置きたるにては如何に一厘も殘らず消へ失せたるに必然同人が持逃げしたるものならんと斯くは訴へ出たるなりと云ふ扨ては飼犬に手を噛れたとは是等の事なるべし

●文廻し屋眼のお灸

無賴西洋人等の營業となせる文廻し屋には一切邦人の立ち入るべからずと其筋より堅く禁ぜられたるにも係らず昨今往々邦人の勞働者等が出入して飛んだお小言を頂戴するとは何處迄も厄介な者共なり現に一昨夜例の富貴樓内文廻し屋へ元神廟街高橋組大工職大野十九助、和田直一の兩人西洋人等を對手取り盛に鶴とか星とか鵜の目鷹の目で金錢を賭し居る最中へ憲兵臨檢して取押へられ散々大目玉を頂戴し今度は特別の御詮議で漸く説諭で放免とは運のよき男共なり因に今後右樣の場所へ出入する者は賭博犯を以てビシ〳〵處分をなすと其筋の係官は語れり

●日清倶樂部の枕探し

外國人の滿洲視察に來るもの追日多きを加へたるが奉天また適當なる旅館の設備なきため外人の多くは日清倶樂部に投宿し近來雀羅を張りつゝありし同倶樂部も外人の爲めに賑ひ來りたるが同所の屋女中村民なるもの過日投宿せる佛國新聞記者の所持金中百圓札一枚を窃取し何喰はぬ顏して居たるも此程遂に發見し處刑のみは該外國人の膝下げにて事濟みたる由なるが床の間かせぎの外枕探しの藝當迄試みられては實に沙汰の限りなり堂々たる日清倶樂部の看板に對し管理者たる者チト心して可なりと同地よりの通信を其儘

●遼陽のおとし文

先頃遼陽に慈善演藝會の催うしありし時厄介坊亦見物かた〴〵老の身を運ばせ物好きにも一寸樂屋をのぞきたる途端足許狂ひて橫さまに蹉を倒れたるも痛さを忍びて起たんとしたる折から不圖目に止まりしは落ちたる左の一通の封書に之れあり候

證

一今回都合により貴殿と相談の上破緣致候事實正也然る上は破緣の條件として小生の事業上成功致し候節は貴殿と土地家屋を買收の上貴殿に給與可致候間後日の證如件

五月七日　中山喜四郎㊞

山川とよ殿

かくて事業成功の上は先妻を破緣致し貴殿を妻と相爲す事確實也

前記中山喜四郎とは五月初旬退去を命ぜられ今は内地に在るものにて又其山川とよといへるは何人なりと問へば誰あらう此度の演藝會に其人ありと知られたる人氣藝妓の一人正一位稻荷大明神に因める家の玉吉姐さんとは驚き入りたる珍聞に候はずや（厄介坊）

廣告

廣告

一總黑毛胸部白斑卷上げ尾小形のポインター犬名はアルレー

右見失候間若し御見當り下名へ御屆被下候御方へは相當の御禮可致候

ブッシュ兄弟商會　ワデラブ

◉煉瓦販賣

上リ竈ニ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ

二本町　高坂洋行煉瓦製造部（電話九十番）

▲競賣廣告▼

品目	
甘藷	二十三萬九千五百貫餘
馬鈴薯	三萬四千九百貫餘
紫蕨	一萬七千四百貫餘
切混布	一百貫餘
若布	三千〇〇貫餘
干午蒡	一萬三千七白貫餘
高野豆腐	四千二百貫餘
切干大根	二萬二千三百貫餘
慈姑	三百貫餘
人參	三百貫餘
糸若布	七千七百貫餘
南瓜	一萬三千七百貫餘
割菜	七千三百貫餘
ホミニー	八百貫餘
不良重燒麵麭	四千〇〇貫餘
不良精	六百石餘

以上入札保証金は各自見積價格の十分の五以上とす

右競争入札に附し賣却す入札望の者は七月一日より七月十四日迄の間に於て關東陸軍倉庫營口支庫に出頭し入札心得書契約書案現品等熟覽の上七月十五日午前第拾時迄に同支庫に入札書差出す可し即時開札す

此契約締結は關東陸軍倉庫營口支庫長金子義友担任す

明治卅九年六月三十日

關東陸軍倉庫

●日本石炭新荷着●

多少に係らず御用仰付られ度候

綏定門街　電話百五十七　新玉倉庫

七月一日午後一時臨時總會ヲ開ク（會場は本會事務所内）

牛莊日本人會

御料理旅館　三河樓支店

弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本風の二楷造家屋新築し樓上等も暑に應ずる設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上

樓主　川上總吉

病室增築輕便入院

是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便と懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收とす

○梅毒○婦人科○外科胃腸病　專門

○嶄新器械。○全身魔醉。○局處魔醉。○無痛手術。

日本醫院

大弓競技大會（飛入勝手）

嚢に回章を以て御案内申上候通來七月一日（日曜日）午前十一時より尚武軒に於て大會開催仕候に付斯道の爲同好之士は特に御差繰御來會あらんことを希ふ

追て御住所及尊名伺洩も不尠候に付更に新紙を以て御案内申上候

六月三十日　發起人

救治萬病　濟生八方　神效無比

白米、㊀醬油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒澤龜特約　東京タクアン　其外和洋酒類

（無比廉價販賣す）

永世街第廿八號

大原洋行

謹告

弊店儀今度彌生跡を引受け新來の年若美形を揃へ料理は勿論御待遇萬事萬端一大刷新を加へ御手輕御清遊に適する樣店中車輪の大勉强何卒倍舊御愛顧の程伏して

御客樣

奉願上候　店一同

營口永世街第四十一號　電話壹番（彌生跡）

醉月

土木建築用諸木料

板硝子類

マソイド便利瓦

九州セメント

オールドスコッチウヰスキー

廉價販賣

營口青堆子綏定門外

志岐組　商業部

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹、疊
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲石材
營口永世街八十號
喜久洋行
（電話百五十二番）

石材
石灰
大販賣
英治洋行
（營口西北街）
（電話三二）

東營口西北街
裕和盛
電話八一番
東清鐵道
遼河
貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール
日本酒洋の鶴
洋酒、食料品
和洋鑵詰、食器
內外煙草、藥品
エジプト、文具
化粧品、金物類
肥前白米、醤油
酢、木炭、其外
色々
卸並に小賣
彩票
毎月
大連
南洋
湖北
發賣
本店　長崎
支店　芝罘　鐵嶺　旅順　京城　仁川　木浦

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、砕石、煉瓦等
一日本石炭數種
營口元神廟前
飯塚工程局材料部
（電話百三十五番）

○板材木　○蚊張
○金物類　○金庫
○疊建具　○花莚
○椅子テーブル　○ペンキ
○洋燈類　○文具
○鰹節雜魚　○紙類
○酢醤油　○罐詰
○其他雜貨色々
新荷着大安賣
營口西北街
㊂石光洋行
遼陽西門外
石光洋行支店

自造
煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口靑堆子
加州組
（電話八十六番）

移轉廣告
並に新來美形
拜啓追々暑さに向ひ申候處各位益々御清榮奉賀上候從て弊樓儀今般春帆樓支店跡引受け料理萬端諸事改良御手輕御滿遊に適する樣店員車輪大勉強仕候尙內地より美形數人參り申候間何卒舊に倍し新來美形と共に御引立あらんことを乞ふ
營口平野町元春帆樓跡
月　日
都樓
坂本ちか
御各位樣

御披露
小亭義皆樣の御引立を蒙り日に增し繁昌に趣き候に付て今般京都より指折の藝妓名及仲居を呼寄一層勉強仕候小亭の特色たる安價と輕便とを以て御客樣の御厚意に酬ひ度候尙夏向き丈は別に氷部を設け金時白玉何なりと御望に應じ可申候間何卒倍舊御引立の程伏て奉願上候
月　日
元神廟街
翁亭

資本金參拾萬圓
日清合股
昌
營口元神廟街第貳九八號
滿洲昌圖
株式會社
營口分局
總局　盛京省昌圖府東街
既設分局　牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽
本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東清鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨滙兌
五、各支店所在地棧房
兼辦關內外鐵道又海外轉運（與大清通運公司連接）東清鐵道沿路樞要各站分局現方在設備中倘蒙遴選貨客愛顧祈新貨客親自到本賬房及各處分局賬房面議爲荷特此謹白倘路途倘有水濕毀壞短少等之推傷本公司言明擔保照市價包補此

日本及清國政府認可招牌爲記
胃症
良藥

總售處　日本　東京　大阪　山田安民大藥房
寄售處　營口永世街　回天堂三木大葯房
（電話百九十番）
啓者此藥爲日本海陸両軍諸大名醫及藥劑官五名共同研究極力參考始得發明其劑其主効之顯著久已名馳內外誠蓋世無比之良藥也倘蒙　仕商惠顧　請認明本舘招牌爲記庶不致誤
胃活專治効力
隔食。胃弱。多年胃弱。胃炎。胃痛　胃痙攣（卽或時疚筋）食物不進。胸痞。（食物不消化胸積弊）宿醉。（卽昨日飲酒今日倘醉）惡心嘔吐。（見食吐）吐酸嘈雜。膨漲。或小兒吐乳等胃症若少服之則靈驗如神云
胃病形骸
胸張困苦○食物不進或食過多○胸漲痛打臭噫○吐粘涎○吐酸水○血氣逆上則目昏花○腰腿發冷○或大便不下○或時下瀉○或腹內無力氣不時憂鬱○若少顏色靑黃○身體困倦○或勞働而無力○且無記憶○若少出力則厭○不時好睡此等症皆胃病之形體也
價洋　三日所服藥料定價洋　一角　八日所服藥料定價洋　二角五分　十七日所服藥料定價洋　五角　三十七日所服藥料定價洋　壹元

御飲料
氷
衛生的
臺灣御認可
田庄臺大盛貯氷公司
發賣元
營口元神廟街成功號三階
田庄臺大盛貯氷公司販賣部
（電話一三四）
特約店
大連信濃町市場前　大原商店
營口二本町　丸山氷室
營口永世街　衛生軒
營口永世街平野町角　山田氷室
營口第二市場前　松木氷室

新荷着
旅行用トランク及手提鞄
極上等靴長靴白靴
臺秤及金庫類
コッピー台
帽子及ピンポン
中折帽子　鳥打帽子
雜貨化粧品及ブラシ類
營口元神廟街成功號三階
關東公司雜貨部
（電話五號）

靴製造
幷に修理
右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也
營口元神廟街郵便局官舍向ひ
桑田靴店

開店
一週年大賣出し
六月二十五日ヨリ
七月十日マデ
正札一割引
東京新形浴衣地類
吳服太物類
化粧品小間物類
陶器類食料品類
日用品雜貨類
永世街第二市場東
石原商店

上海
中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠立有專銷之約凡新聞紙料印書釉各式紙訂莊票包棉紗料草板紙張洋本機器連史紙洋彩印字運墨其他各件料一切統由本行出售　貴客惠顧至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

一濵船貨物運搬業
一浮船及瀨取請負業
右營業精々勉強致し迅速御用辨可仕候
營口南永世街第二市場を西へ入る
遼河運輸
同濟公司

和洋會席御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町
日本館
（電話百三十）
各位樣

古料理
滿月
平野町（電一六二）
滿月支店
平野町入口
店主
青木勝惠

廣告
一各國洋服地一切大勉强可仕候間何卒御來見の上御買求之程を願ふ
並に各國洋服仕立料も大安價に仕て差上可候間何卒御注文を願ふ
元神廟街日營貿易筋向ヒ
寶泰祥
營口元神廟街東
福興洋服所

松岡病院
內外科眼科婦人科診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血清療法を施す
元神廟街第百三十四號
全科醫士　松岡玄雄
（電話一五一番）

行車 天津 北京 塘沽 山海關 大連着 鐵嶺 開原 昌圖
氣溫 最高溫度七十六度 最低溫度六十七度八 高六度

宮門抄

初三日

商部 鑾儀衛 廂黃旗值日無引見 英瑞恭送壽物蒙 命

錫光因修墓請假兩個月 值年旗奏派稽查七倉 派出奎俊

召見軍機

皇上門日辦事後還宮 覲見畢還海

商部遞封奏一件

上諭恭錄

初三日奉

上諭岑春煊奏舉劾屬員請旨分別勸懲一摺廣東廉州府知府李崇洸欽州直隸州知州李象辰署南海縣知縣大挑知縣虞汝鈞歸善縣知縣劉能新興縣知縣鄭增祐候補知縣許瑩章均着傳旨加獎惠州府碣石通判張順昌氣躁才疏偏信差役乳源縣知縣許克家縱差滋擾不洽輿情候補鹽經歷王國楨性情浮躁居心巧滑試用巡檢裘璜聲名平常頗滋物議候補鹽巡檢安鳳翥行止卑汚有玷官常均着一併革職防城縣知縣曾汝材捕務懈弛聽斷不勤前署恩平縣知縣候補知縣楊本楫才識庸懦捕務多疏均著以府經歷縣丞降補海康縣知縣黃雲飛心地尙明緝捕不力鶴山縣知縣陳汝壽人尙謹飭才欠開展海陽縣知縣王金綱才具稍短難勝煩劇英德縣知縣呂光琦性近迂謹人地不宜均著開缺另補長寧縣知縣張光銑年力就衰難期振作著勒令休致餘著照所議辦理該部知道欽此

論說

論各省宜設立白話演說報（來稿）

觀國者。不必觀於其士大夫也。當觀於婦人孺子。孔子適齊見童子。知韶樂之作。詩國風。亦當時里巷歌謠耳。而秦之勇悍。魏之儉勤。齊之泱泱大風。觀者以是劵焉。自王迹熄而詩亡。詩亡而史作。歷史者。所以叙述人群進化之事迹者也。而秦以後之史書。則但爲一姓譜牒。於民俗之升降民智之通塞。蓋闕如焉。觀國者乃亦不由其婦孺。而由其士夫。其朝有二三偉大人物。足爲斯世光榮。則僉曰郅治之世矣。夫此二三人者。乃信能代表全國之群類乎哉。數千年來。民氣閉塞。靡不由此。又疊經霸王鈐軛之術。束縛而剝喪之。如是則民安得不愚。今之大人者曰。開民智矣。興學矣。是如樹木然。二年而爲薪蘇。五年而爲楹。十年而後。能爲棟梁。此其效非可旦夕幾也。今之志士曰。廣譯書報矣。然吾國之民。識字者十之二三。不識字者。十之六七。况內儒洮深之學理。縱橫之政說。中士聞而心駭焉。下士聞而色變焉。况鄉曲小民乎哉。然則奈何。曰屬者蘇杭直隸。創有白話報。最近山西程氏。稟設白話演說報。此開通民智之最善者也。而自餘各省。蓋寥寥焉。嗟乎。吾邦人諸友。其亦知演說之大有造於社會否耶。泰西各國。凡大興革。皆以演說爲行政之機關。法之挫於德也。勢幾不國。一演說而醵數百萬金錢。且呼起國人復仇洒耻之心。而[illegible]立。至今地圖上。猶有法蘭西之顏色者。皆此[illegible]夫之攘菲律賓也。與法人交相惡。德人日[illegible]軍政之脆弱。如與德遇。猶驅羊於餓虎也。美總統盧斯福憤焉。大聲疾呼。日以推擴海軍爲務。隨在演說。至今乃隱然握太平洋面之制海權。日本維新。亦全國盛開演說會。最近東三省之役。輿論一致。卒使虎狼之俄。駸駸有降爲第二等國之勢。而黃禍之說。乃日驚號於歐人魂夢中。此其尤大彰明較著者也。白話演說報。即本演說會而變通之。讀其章程。明通公溥。簡要忠實。夫言之入人也。文言不如俗言之尤易感動。州縣學官。每歲坐堂皇。召生徒。演說古訓誓言。聽之者有頭觸屏風者矣。獨至一二里老。銜煙斗。箕坐豆棚間。揎拳抵掌。販演稗官小說。環而聽者嘗數百人。時或聽而歡笑焉。時或聽而嗟歎焉。其哀樂之動人如此。夫語以古事。何如語以今事。語以他人之陳迹。何如語以切己之近災。比者德人山東勢力。一日千里。山東之民將爲奴隸。將爲牛馬。勢岌岌矣。而山東人未盡知也。豈惟山東。俄失[illegible]滿。必折而出伊犁新疆。進窺川陝。關中之民。將爲几上肉。將爲釜中魚。亦幾殆矣。而關中人未盡知也。豈惟川陝。英人於揚子江流域。法人於兩廣雲貴。日人於浙閩沿海。皆將磨牙而吮血焉。而長江滇粵閩浙之民。未盡知也。其不知也。囿於見聞也。夫以現今各省之大勢如此。昔楚莊圖覇。日討國人而申儆之。演說報者。亦由斯意云爾。仿而行之。有百利而無一害。况昔者戴尙書奏講演一案。經部議咨行各省。是演說又固國家憲令所許者也。石田千頃。謂之無地。愚民百萬。謂之無民。未有無民而能國者。未有民愚而國能强者。當道諸公。內地志士。當必有以繼其後矣。且東西洋文明諸國。無論爲立憲。爲共和。各有議院。以爲地方自治。及中央行政之機關部。故其國政。通明公正。平等劃一焉。吾國民程度。雖未及此。然演說報之行。則或者他時議院之基礎也已。

中外要聞

●南昌教堂中法簽押合同　南昌教案簽押已誌本報聞該全案合同已由外部於初二日繕摺奏呈　聖鑒茲將全文錄左

爲立合同事近因南昌滋事殺斃法人焚燬教堂學堂一案大法國　大清國政府均願將此案公平議結以期兩國交誼益敦和好已經商定各派委員會同查明辦理　大法國欽差特派三等參贊官世襲子爵花翎頭品頂戴端貴　大清國外務部奏派直隸津海關道花翎二品頂戴梁敦彥前往南昌詳細查明南昌縣知縣江召棠身故緣由本年正月二十九日南昌縣知縣江召棠到天主堂與教士王安之商議舊案彼此意見不合以致江令憤急自刎乃因該令自刎之舉傳有毀謗法教士之訛以致出有二月初三日暴動之事中國國家已自將有罪之人懲辦茲將外務部與駐京法國欽差議定各條開列於左免致嗣後彼此或生異詞

第一條　應給被害教士五人家屬撫䘏銀四萬兩另給一萬兩作爲後來新教習等川資經費之用其欵應以庫平庫色兌交駐滬法國總領事收領

第二條　新昌等舊案及南昌新案所有被燬教堂學堂養濟院等處及教內之人房屋並一切物件總共賠償銀二十萬兩整交由教堂提欵償補各案教內之人之損失作爲一律了結

第三條　第二條所載庫平庫色銀二十萬兩分十次交付每三箇月爲一期二萬兩交由法國主教在九江收領

第四條　所有被燬教堂各紅契應由地方官從速補給管業執照並在南昌縣城內借予教堂房屋一所以待教士蓋有房屋即行遷移

第五條　江西巡撫應行從速出示曉諭其告示底稿已經外務部與法國駐京欽差會訂　以上五條分繕華文法文各四分其一存外務部一存駐京法使公署一存江西巡撫衙門一存九江天主堂　大法欽差駐紮中國全權大臣佩帶榮光四等寶星巴押　大清欽命大學士外務部會辦大臣那　押　協辦大學士外務部尙書大臣瞿　押　外務部左侍郎聯　押　外務部右侍郎唐　押　西曆一千九百零六年六月二十號　大清光緒三十二年閏四月二十九日　印　一面係法文　法國欽使押　火漆印

●請蠲免俄人已佔之地租　俄東清鐵路公司於江吉兩省藉口托詞私佔民地一節屢誌報端茲聞日前程雪帥電致戶部略云黑省呼蘭屬界東清鐵路沿地被俄鐵路公司侵佔計二萬三千餘晌雖前照會俄督要求歸還然俄人百方藉口不肯歸還事無奈何應請觸免租稅以恤民艱戶部應即電覆飭令程雪帥查明該地自何時侵佔蠲除租稅是否奏准有案詳覆到部再行定奪云按俄人私佔民地固係違法舉動可以據理收回如懼俄人煩言不速收回則恐俄人循以成例益長其奢望矣

●新疆油礦擴張　新疆地方富於油礦出產甚旺俄人頗垂涎之屢派礦師勘查各地乘機邀求開採每經華官嚴詞拒絕頃聞塔爾巴哈台辦事大臣電商部略云哈屬礦產甚旺以石油爲大宗前經俄商邀求開礦業已峻拒由官庫撥款自行開挖以示抵制目下開挖稍著成效產額漸多但用土法開採究難獲利現擬添籌官欵十萬兩再招商股十萬兩購辦新式機器用西法廣行開採以濬利源刻已派員赴滬購辦機器懇大部咨照上海道妥爲照料

●俄使不滿意於程雪帥　程雪帥自署理黑龍江將軍後認眞舉辦新政於內治外交均有所整頓然俄人以程雪帥堅持清議屢次與其衝突不能饜其奢望頗爲憤懣嘖有煩言已於上月照會外部請將程將軍調動另派大員接任然外部知程帥諳練內治熟悉外交婉詞拒斥不肯允認然俄使仍欲乘機排擠程雪帥以達其目的日前屢謁某大員言程雪帥辦理外交頗不妥善每遇交涉必與俄國爲難毫無和衷共濟之意頗有妨于邦交宜另簡賢員以睦邦交云云但程雪帥之於江省夙有政聲深蒙　朝廷倚重故俄使雖極力運動竟難達其目的也

●中俄約俟秋開議　中俄條約間日前由外部照會駐京俄使催促定期開議嗣接俄署覆照公文略稱現屆炎夏本大臣將避暑於北戴河所有關於滿洲條約事宜應俟秋間再行開議等語

●班禪喇嘛進貢金佛　後藏班禪額爾德呢喇嘛由印回藏電奏各節已紀前報茲復據駐藏大臣代奏略稱班禪額爾德呢自被英人迫脅入印以後自料萬無生理乃遲荷　聖德庇護化險爲夷平安返藏並蒙　聖恩高厚寬其擅行離藏之咎曲賜矜全仍准於札什倫布居住　帝德如天卑僧惟有率令徒衆虔誦經典恭祝昇平以期闔藏僧俗共沐　恩輝今恭進　大皇帝陛下金佛一尊以達一方以盡卑僧恭順感激之微忱云云已由理藩院代爲呈進矣

●周馥授江督消息　署理兩江總督周馥在兩江任辦理交涉尙能胥協機宜聞政府透出消息有著周玉帥實授江督之意並擬加以太子少保之榮銜以奬有功云

●美裁駐杭領事　美國駐杭州領事署於本月裁撤所有現辦事宜及將來一切事件均由上海領事署兼攝

●留學生畢業　今日東京法政大學行畢業典禮有淸國留學生二百三十名畢業

●飭贛鄂會勦會匪　日前政府接到江西電報新昌與湖州蒲圻地方均有匪亂飢民流爲匪類搶掠粮米之事日有所聞故由政府電飭贛撫吳鄂督張派兵速爲會勦

●直魯學使接任　直隸提學使盧靖曾遊東洋故出袁宮保奏免出洋現盧學使亦接任又聞山東提學使連甲亦曾遊日本故亦無須再行出洋連學使接任之摺昨已到京

●紀昌圖匪劫案　日前奉天昌圖府派委由保定軍械局請領快槍一百桿子彈五萬粒並零用物件內有現銀五百兩行至昌圖府附定有二十里路之遠忽來馬賊十名有押送官兵六十名見馬賊近前官兵逃走隨被馬賊搶去女僕一名又現銀五百兩並槍彈等物而去其押解委員一員至今亦無下落搶去之時係新任昌圖府林太守接印之期下午云

●電拒荷招華工　探聞粵督岑雲帥電告外部云現在荷蘭擬在粵招募華工前往澳洲荷屬開採錫礦一節因其章程不甚完備刻已婉言拒絕如該國駐京公使邀求外部亦應俟其章程改訂完善始克允許以免虐待華工

●擬咨預備秋操事宜　聞練兵處王大臣會商本年九月在河南舉行合操之典應即咨照河南巡撫即將應行事宜及供差員役速爲妥籌預備以免屆期遺誤要差

●俄國組織新政府　俄國議院議定要求政府辭職並組織新政府由議院酌議考察意見以決去就

●美憤俄虐殺猶太人　美國上院議定美國百姓對於俄官虐殺猶太人一事願動公憤深表同情

●諾王行即位禮　諾爾威國王波昆陛下偕皇后於杜倫菲木教堂舉行即位禮所行之儀式均仿古制云

雜報

●手車爭道　西街路北有一僻巷僅能行馬車壹排別無隙地前日有一推手車夫某甲推香油壹簍向南步行如馳旋有某乙車夫推燒酒壹簍向北疾行恰於巷中相過各自爭路兩不相讓二車同時俱遭傾覆油酒迸溢而甲則怨乙乙則怨甲二人交憤幾有拚命之勢經衆調說未悉後竟如何云

●婪索市賄　昨聞阜民傳說華歷端陽節午前關帝廟市場有肩挑貿易十餘人其貯物品之櫃箱筐筥幷列廟前皆持籤簿藉爲售貨之媒雖近博戲之類蓋籤官署格外寬恩亦從來未之禁也昨值端午令節游人如織該小販搖籤生意愈形熱鬧詎來一少年某甲先向貨攤東首一翁告曰爾等每人須給我預備銀洋壹元云云翁疑爲謔語初笑頷之少年轉去少頃復回視該等毫未措辦則勃然怒手擊一挺毀諸櫃箱掀諸筐筥品物傾翻充　地下便將該翁詈罵捶擊一翁頭顱被創流血翁即憤向拚命旋同此少年向第四派遣所鳴狀聞中途遇人調說事已罷休後未聞如何矣

料理 □□亭 谷初次郎

□□樓 □□ホテル（□八四番）

御料理 並ニ温泉 毎日新湯 一力 營口永世街 店主 堀万助

旅館 河岸通り 日營ホテル 店主 井上源吉

料理 永世街八十六號 東京館 店主 村上京四郎

旅館 營口新市場前（電話一八七番、四番） 東京樓 店主 熊田粂次郎

旅館 西北街百七十三號正金銀行西三軒 東茂旅館

料理 元神廟街百三十三號 千鳥 店主 吉住善藏

料理 永世街百六十四號 沖の島 店主 中川粂三郎

料理 永世街八十六號 吉野亭 店主 坪田正好

旅館 西北街（電話一四五番） 高砂ホテル 店主 片山小みつ

旅館 永世街三十四號（電話十一號） 大和館 店主 前田九一郎

御料理 營口二本町 梅廼家 田村瀧太郎

料理 臺灣門街榮百〇四號 嶌梅 店主 田島彌助

料理 永世街字二本町三百五十九号 まんなをし 店主 和田常松

和洋料理 西永世街 公樂園

料理 營口平野町 喜樂亭

旅館 永世街七號 東雲旅館 店主 谷口今朝太郎

料理旅館 永世街百二十七號 醉花園 澁谷旅館 店主 澁田留吉

營口元神廟街 永世街鶴の角 さるそば 第一更科 さるそば 第二更科

和洋料理 營口元神廟街一四三号 松月亭 店主 住松信太郎

料理 平野町 都樓 店主 阪本ちか

御旅館 營口永世街一六五號 品川館

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿 奉天小西關大街北側 瑞豐館 館主 河野嘉吉（電話 號）

會席御料理 高等御旅館 温泉付大勉強キレーヂライシヒ 奉天小西關大街北側 天神樓（電話 號）

旅館料理店 奉天小西關大街南側 日盛館 館主 入江熊男（電話 號）

旅館 料理店 奉天城内旅市街東華門宮殿東側 梅松館 館主 押尾富次郎（電話 號）

御料理 奉天小西門より一丁西の辻北入 梅ケ枝 館主 辻井ムメ

高等御旅館 奉天小西關大街路北 茂林館（電話二十五號）

旅館料理店 牛肉雞肉すき燒 奉天小西關大什字街南へ入 日章館 日章亭（電話 號）

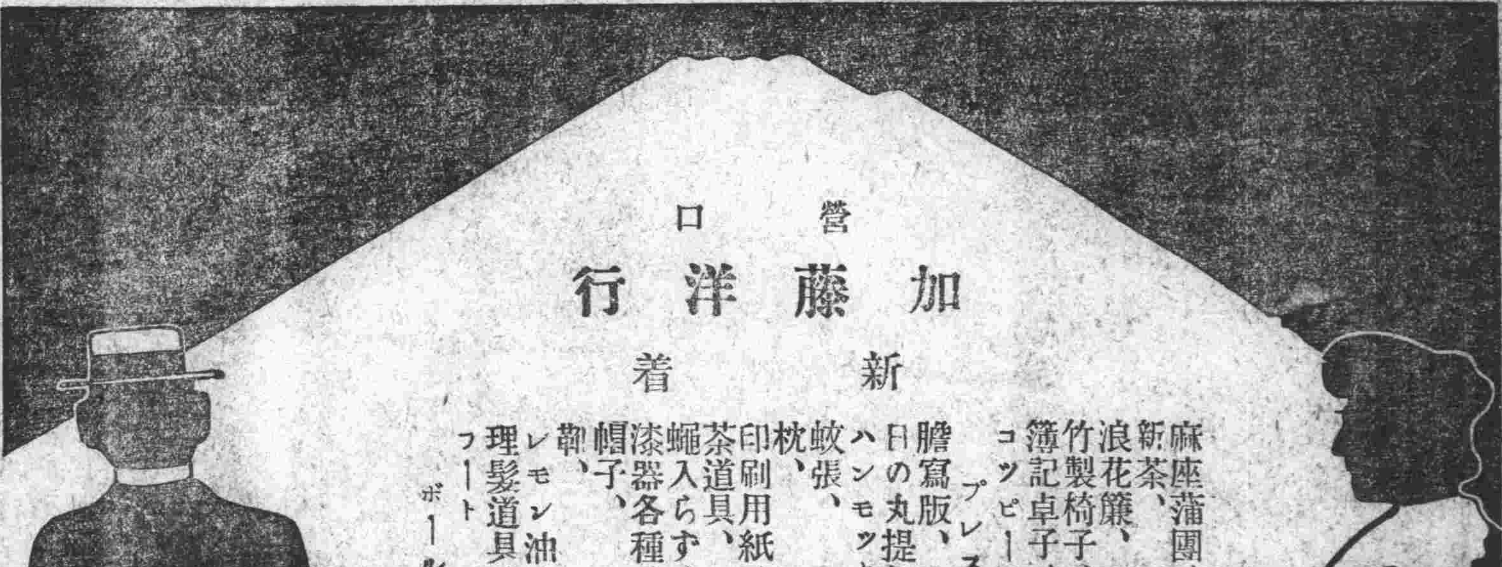
御旅館 奉天小西門外大街路北 瀋陽館

さるそば 營口支店 奉天小西門外金城館前 更科

御定宿 今回大改良を加へ旅館專業にし御客様の便利を斗り内湯新調仕候間御來宿の程奉願上候 奉天小西關第五分局八〇一〇號 第二東京館 館主 松田平四郎

御旅館料理店 奉天大西門際 新日奉館 館主 濱田アヤノ

御旅館料理 奉天大西關大什字街 第五分局千〇六十八号 扶桑館 館主 堀田ハル 電話 号



和洋諸雜貨 食料品卸小賣 各種賣藥卸小賣 奉天小南門ノ後 中越洋行 中越大藥房 但シ賣藥部ハ隨時診察ニ應ス 尚以後吉林長春ハルビン地方ヘ御越シノ方有之上ハ聊カ御示談申上度義も之候ニ付御都合上御來訪ヲ乞フ

和洋御料理 高等 遼陽城内東街一八九號 遼東館 電話 號

本組開設營口綏定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價値格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名擧其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸 營口青堆子綏定門外 志岐組

土木建築請負幷ニ諸材料販賣板硝子便利瓦ウヰスキー麥酒類卸賣 營口青堆子綏定門外 志岐組

硝子製造 營口青堆子街三百六十四號 菅野玻璃廠

THE OFFICE M. SUGANO'S GLASS MANUFACTORY. No. 364, St. Chingtaizu, YINGKOW.

御旅館 和洋御料理 奉天軍政署指定旅館 奉天館（電話十四番） 奉天城内鐘樓南大街

日滿倶樂部（電話十五番） 奉天城内大南門裡大街 麵麭製造 西洋洗濯 靴製造 日本大工 理髪 裁縫 氷卸小賣所

御料理 本店 奉天小西關新來當街々 金城館（電話十九）

御旅館 奉天小西門街大什字街 金城ホテル（電話二〇）

御披露

追々暑氣に相向ひ申候處各位倍御清榮奉大賀候 陳は今般營業擴張と同時に營口支店に於ても在來の婦人一切入れ替へ東京に江戸牛粋の美人數十名を呼寄せ候從つて趣向も更り千編一律の遊びにあかせられ候御方様には一入の興味を感ぜらるゝこと奉存候尚樓上等も暑さに應し設備を改め候間御納凉旁あつさりと晩餐を召させらるゝにも好適と存申候御散歩の折柄是非共御試遊被下度伏て奉願上候

御料理 支店 營口永世街 金城館（電話八三）

御旅館 支店 營口永世街 金城ホテル

御料理 支店 大連市吉野町 金城館

御旅館 支店 大連市吉野町 金城館

安奉線道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半 温泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁 眺望絶佳今ヤ新緑滴タルノ下清流掬スベキノ仙境タリ

滿韓境上 唯一樂園 五龍背温泉

當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ 効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、癩病等ニ特効アリ

大日本政府特定 官製口付紙捲煙草 滿洲一手輸入發賣 江副洋行 營口永世街

廣告 スペシャルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり

高等麥酒スペシャルライト

六月 釀造元 大日本麥酒株式會社 滿洲一手販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部（電話五番） 分店 奉天四平街電話十三號 關東洋行

恵比壽ビール YEBISU TRADE MARK DAI NIPPON BREWERY CO. LTD. TOKYO JAPAN 大日本麥酒株式會社

金升洋行 盛進商行

店頭陳列 つり切

七月三日より十五日まで 第二回夏物の荷着大賣出し 從來の通りくじ行景品を呈す 永世街 ㋖ 木村呉服店

MANCHURIA DAILY NEWS Subscription 4 cts. 80 cts. per month